

名取市文化会館で語る

ふるさとの 昔ばなし

歴史の深い名取の地に語り継がれてきた民話を中心に
年4回で心あたたまる語りをお届けします。

入場無料

要整理券

※お一人様4枚まで

日時

13:30開場 14:00開演

2023年

第1回

8月6日 日

整理券配布開始日
7月6日(木)

第2回

10月7日 土

整理券配布開始日
9月7日(木)

第3回

12月17日 日

整理券配布開始日
11月17日(金)

2024年

第4回

2月23日 祝金

整理券配布開始日
2024年1月23日(火)

会場

名取市文化会館 小ホール

【出演】名取昔ばなし語りの会

【ゲスト】大平 悦子(岩手・遠野)

第1回 金 基英(韓国)

第2回 藤巻 愛子(山梨)

第3回 渡部 豊子(山形)

第4回 矢部 敦子(和歌山)

【司会】佐々木 彩香 <エフエムなとり>

【整理券配布場所】名取市文化会館／名取駅コミュニティプラザ／同和警備(株)名取営業所タウンステーション

主催：公益財団法人名取市文化振興財団 後援：名取市／名取市教育委員会 協力：イオンモール名取
[お問合せ] 名取市文化会館 TEL 022(384)8900 (第1・3火曜日を除く 9:00～18:00)



名取市文化会館

〔第1回〕8月6日(日)

〔名取昔ばなし語りの会〕

- ねぎ苗っ子
- 岩屋の女
- おなご五十集の話
(ちみこの話)(閑上)
- 寒袋

〔大平 悦子〕あやめになった婆さま

〔金 基英〕韓国の昔ばなし

〔第2回〕10月7日(土)

〔名取昔ばなし語りの会〕

- おひがんの話
- 実方中將と阿古耶の松
(愛島)
- さんねん峠
- 大蛇の目玉

〔大平 悦子〕郭公と時鳥 他

〔藤巻 愛子〕山梨の昔ばなし

〔第3回〕12月17日(日)

〔名取昔ばなし語りの会〕

- 聴耳(ききみみ)
- 梨は毒
- うた女房
- むさかりとかがり火(愛島)

〔大平 悦子〕貧乏神と福の神 他

〔渡部 豊子〕山形の昔ばなし

〔第4回〕2月23日(金・祝)

〔名取昔ばなし語りの会〕

- みちびき地藏
- 花咲か爺さん
- 大豆ときな粉
- 手倉田物語(増田西)

〔大平 悦子〕黒髪の子 他

〔矢部 敦子〕和歌山の昔ばなし

名取に伝わる民話や伝説を語り継いでいこうと活動している「名取昔ばなし語りの会」と名取市文化会館が連携し、昔ばなしの魅力や故郷を想うことの大切さを伝えていこうと始まったこの事業は三年目を迎えました。歴史の深い名取の地に語り継がれてきた数々の民話を題材に、四回にわたって心あたたまる語りをお届けします。

また、日本民話の会より岩手県遠野ご出身の大平悦子氏を迎え、語りの本場から「遠野物語」などを披露するほか、各回に全国各地からゲストを迎え、その土地の方言を交えて豊かな表現で昔ばなしを披露します。

大平 悦子

岩手県遠野市出身。

2011年神奈川県公立学校教諭を退職後、川崎市と遠野市の2地域に住んで行き来しながら、遠野言葉の語り部として「遠野物語」や遠野の昔ばなしを語っている。



民話には喜びや悲しみや生きる知恵、工夫が織り込まれています。それらを伝えることで、子どもからお年寄りまで人生を豊かに感じていただきたいと思い、また地域に伝わる民話を語ることで、子どもたちに郷土愛を伝える手助けができればと思っています。

名取昔ばなし語りの会

平成15年8月に発足。

名取市文化会館、名取市図書館、国の重要文化財旧中沢家住宅、市内の児童センターや小学校、FMなどへへの出演と市内を中心に語りを行うほか、昔ばなしを勉強し物語を語る活動を行っている。



〔第1回〕

金 基英(韓国)



〔第2回〕

藤巻 愛子(山梨)



〔第3回〕

渡部 豊子(山形)



〔第4回〕

矢部 敦子(和歌山)



アクセス

■仙台空港アクセス線杜せきのした駅より徒歩 8 分

■JR 名取駅より徒歩 17 分

※タクシーをご利用の場合はJR名取駅が便利です。

※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。

公益財団法人 名取市文化振興財団

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田 520

TEL 022(384)8900 FAX 022(384)6684 <http://bunka.natori.or.jp/>



「名取市文化会館」

